ボーリング柱状図

調　　査　　名　大野海岸早時地区海岸　海岸保全事業に伴う業務委託

事 業 ・ 工 事 名

ボーリングNo.	5	1	3	2	3	2	6	3	0	0	0

シートNo.

ボーリング名	Bor.No.10	調査位置	広島県廿日市市大野早時	北緯	34° 18′ 09.7201″	
発注機関	広島県西部建設事務所廿日市支所	調査期間	平成29年12月22日～平成29年12月25日	東経	132° 17′ 37.7389″	
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	CDL -1.30m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 90° 東 180° 南 270° 西	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機	東邦D-1B58	ハンマー落下用具	半自動型
総掘進長	3.00m								エンジン	NS-110	ポンプ	東邦BG-3B

標尺 m	標高 m	層厚 m	深度 m	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	粒度試験による土質区分	孔内水位／測定月日
	-1.50	0.20	0.20		礫混り砂	暗青灰	密な		有機質なシルト分を含んだ中～粗粒砂。φ4～10mmの亜角礫や貝殻の細片が混じる。		
1	-2.30	0.80	1.00		強風化花崗岩	淡灰褐			中～粗粒のまさ状又はφ4～10mm以下の軟質な角礫状。礫片はハンマーの軽打で砂状に崩れる。		
2					風化花崗岩	淡灰褐			軟岩1。 粗粒のまさ状又はφ5～10mmの軟質な角礫状。 礫片はカリ長石や石英が多く，角閃石の大半は砂状に風化する。		
3	-4.30	2.00	3.00								
4											
5											
6											
7											
8											

標準貫入試験

深度 m	10cm毎の打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量	N値
0.45	4	14	20	38／30	38
1.10	41	9／2		50／12	50以上
1.22					
2.10	50／7			50／7	50以上
2.17					
3.05	50／4			50／4	50以上
3.09					

原位置試験

深度 m	試験名及び結果

試料採取

深度 m	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
0.15	P-1	㊀	物理	
0.45				
1.10	P-2	㊀	物理	12/22
1.22				
2.10	P-3	㊀		
2.17				
3.05	P-4	㊀		12/25
3.09				